



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 10224549

(43)Date of publication of application: 21.08.1998

(51)Int.CL

H04N 1/00

G06F 13/00

G06F 13/00

G06F 17/60

(21)Application number: 09033076

(71)Applicant:

OKI ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing: 31.01.1997

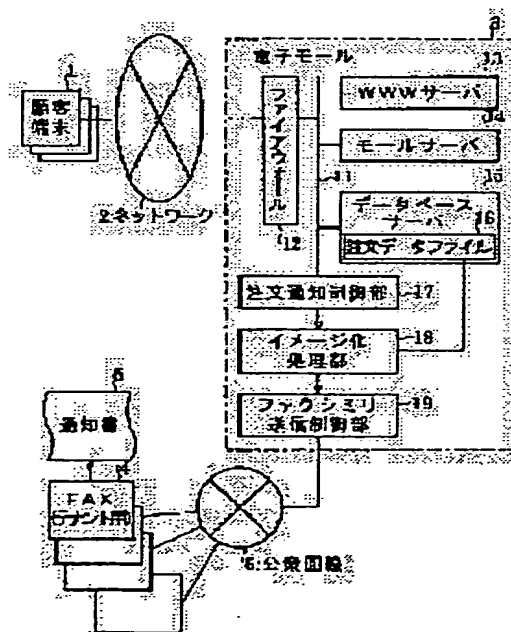
(72)Inventor:

INOUE SEIJI

(54) ELECTRONIC MALL SYSTEM AND ITS CONTROLLING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it unnecessary to request the installation of an expensive communication terminal on a tenant and to accelerate customer invitation by transmitting order information to the tenant by using a facsimile(FAX). **SOLUTION:** When an electronic mall 3 is ordered by operating a customer's terminal 1, the contents of the order are stored in an order data file 16. An order notification control part 17 starts an imaging processing part 18 at suitable timing, reads out the order information of a part not notified from the file 16 to the tenant yet, edits the read information and informs of the image of a note of each tenant. The image of the note of each tenant is transmitted to a tenant side FAX equipment 4 through a FAX transmission control part 19. The FAX equipment 4 prints out a note 5. The tenant receiving the note 5



executes operation such as the preparation of a necessary commodity and the delivery of the commodity to a customer.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

[MENU](#)

[SEARCH](#)

[INDEX](#)

[DETAIL](#)

- (19) 【発行国】 日本国特許庁 (J P)
 (12) 【公報種別】 公開特許公報 (A)
 (11) 【公開番号】 特開平 10-224549
 (43) 【公開日】 平成 10 年 (1998) 8 月 21 日
 (54) 【発明の名称】 電子モールシステムとその制御方法
 (51) 【国際特許分類第 6 版】

H04N 1/00 107
 G06F 13/00 351
 355

17/60

【 F I 】

H04N 1/00 107 Z
 G06F 13/00 351 B
 355

15/21 330

【審査請求】 未請求

【請求項の数】 4

【出願形態】 F D

【全页数】 5

(21) 【出願番号】 特願平 9-33076

(22) 【出願日】 平成 9 年 (1997) 1 月 31 日

(71) 【出願人】

【識別番号】 000000295

【氏名又は名称】 沖電気工業株式会社

【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 12 号

(72) 【発明者】

【氏名】 井上 清司

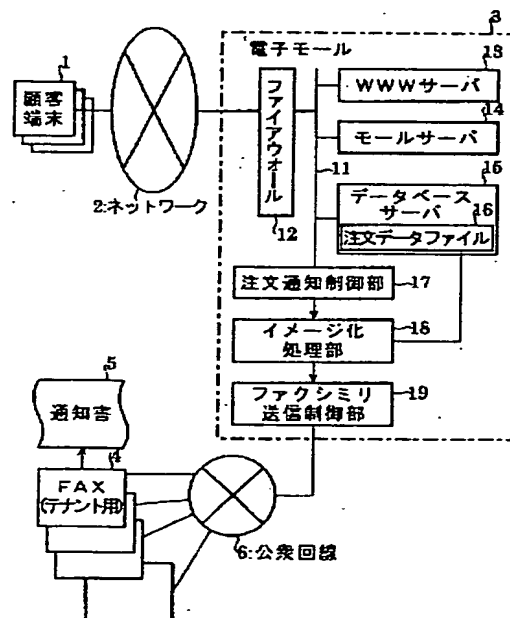
【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 12 号 沖電気工業株式会社内

。

(57) 【要約】

【解決手段】 顧客がネットワーク 2 を通じて電子モール 3 に対して注文を行うと、その内容が所定のフォーマットでイメージ化される。テナントのファクシミリ装置 4 には、その注文の内容を表示した通知書 5 がファクシミリ送信される。

【効果】 高価な端末装置等を設備しなくてもファクシミリによって電子モール 3 から注文情報を受信できる。従って、電子モールシステムの導入が容易になる。



本発明のシステムのブロック図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設して、このネットワークを介して顧客の注文を受け、電子モールに参加するテナントに対して該当する注文内容を通知するシステムにおいて、テナント側にはファクシミリ装置が据え付けられ、電子モール側には、注文の内容を表示する通知書を、テナント毎に所定のパターンを用いてイメージ化するイメージ化処理部と、イメージ化した通知書をテナントに対してファクシミリ送信するファクシミリ送信制御部とを設けたことを特徴とする電子モールシステム。

【請求項2】 請求項1において、電子モール側には、テナント毎に注文の内容を蓄積する注文データファイルと、予め設定した所定のタイミングで、未だ該当するテナントに通知していない注文の内容を表示する通知書のイメージ化を要求する注文通知制御部を備えたことを特徴とする電子モールシステム。

【請求項3】 ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設して、このネットワークを介して顧客の注文を受け、電子モールに参加するテナントに対して該当する注文内容を通知する場合に、電子モール側において、注文の内容を表示する通知書を、テナント毎に所定のパターンを用いてイメージ化し、イメージ化した通知書をテナントに対してファクシミリ送信することを特徴とする電子モールシステムの制御方法。

【請求項4】 請求項3において、テナント毎に注文の内容を蓄積する一方、未だ該当するテナントに通知していない注文の内容を予め設定した所定のタイミングでまとめて、これを表示する通知書をイメージ化し、ファクシミリ送信することを特徴とする電子モールシステムの制御方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットや企業内ネットワーク上に仮想の店舗を開設し、商品の通信販売等を行うための、電子モールシステムとその制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 インターネットや企業内ネットワークの利用者が増加するにつれて、これらのネットワークを通じて商品を紹介し、その通信販売を行うシステムが普及してきた。こうした仮想店舗は通信販売をしようとする者自身が開設しても良いが、技術的な面で必ずしも容易でない。そこで、こうした通信販売を行うことを希望する複数のテナントから依頼を受けて、WWWサーバを伴う商品情報発信のためのシステムを貸す電子モールシス

テムが生まれた。現実の世界でいうテナント料に当たる手数料を各テナントから取得してこの電子モールシステムが運用される。顧客はネットワークを介してこの電子モールシステムに対し注文を行う。電子モールシステムでは、顧客から受けた注文情報を該当するテナントに通知する。該当するテナントはネットワークに専用の端末を接続し、注文情報を読み出すようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上記のような従来の電子モールシステムには次のような解決すべき課題があった。電子モールシステムの運用者はテナントが増えるほど利益が増加する。新規参入のテナントに対しては注文情報を読み取るための端末等が設備される。しかしながら、新規に電子モールシステムに参加するテナントは、参加によってどれだけの利益が上がるか不明確な場合も多い。従って、高価な端末を購入し、通信費を毎月支払わなければならないといった理由により、電子モールシステムへの新規加入を見合わせるものもあった。即ち、テナントに端末等のシステムを導入させるということが電子モールシステムの運用者にとってテナントを増やすための妨げになっていた。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は以上の点を解決するため次の構成を採用する。

〈構成1〉 ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設して、このネットワークを介して顧客の注文を受け、電子モールに参加するテナントに対して該当する注文内容を通知するシステムにおいて、テナント側にはファクシミリ装置が据え付けられ、電子モール側には、注文の内容を表示する通知書を、テナント毎に所定のパターンを用いてイメージ化するイメージ化処理部と、イメージ化した通知書をテナントに対してファクシミリ送信するファクシミリ送信制御部とを設けたことを特徴とする電子モールシステム。

【0005】 〈構成2〉 構成1において、電子モール側には、テナント毎に注文の内容を蓄積する注文データファイルと、予め設定した所定のタイミングで、未だ該当するテナントに通知していない注文の内容を表示する通知書のイメージ化を要求する注文通知制御部を備えたことを特徴とする電子モールシステム。

【0006】 〈構成3〉 ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設して、このネットワークを介して顧客の注文を受け、電子モールに参加するテナントに対して該当する注文内容を通知する場合に、電子モール側において、注文の内容を表示する通知書を、テナント毎に所定のパターンを用いてイメージ化し、イメージ化した通知書をテナントに対してファクシミリ送信することを特徴とする電子モールシステムの制御方法。

【0007】 〈構成4〉 構成3において、テナント毎に注文の内容を蓄積する一方、未だ該当するテナントに通

知していない注文の内容を予め設定した所定のタイミングでまとめて、これを表示する通知書をイメージ化し、ファクシミリ送信することを特徴とする電子モールシステムの制御方法。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を具体例を用いて説明する。

〈具体例〉図1は、本発明のシステム的具体例を示すブロック図である。このシステムは、顧客端末1がネットワーク2を介して電子モール3に接続された構成をしている。ネットワーク2はインターネットや企業内ネットワーク等様々なネットワークにより構成される。顧客は一般の消費者あるいは電子モール3によって紹介される商品情報を受け入れて商品を購入するユーザである。電子モール3はネットワーク2上で仮想の店舗を構成する管理用の端末装置である。顧客端末1はパーソナルコンピュータ等から成り、図示しないモデムを使用して顧客の自宅近くのサービスプロバイダ（SP）に接続し、インターネット等のネットワーク2にアクセスしている。

【0009】電子モール3は、内部LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続されたファイアウォール12、WWWサーバ13、モールサーバ14、データベースサーバ15、データベースサーバ中に設けられた注文データファイル16、注文通知制御部17、イメージ化処理部18及びファクシミリ送信制御部19により構成される。この電子モール3には、電子モール3を利用して商品情報を発信しようとするテナントのファクシミリ装置4が公衆回線6を介して接続されている。電子モール3の内部LAN11は、ファイアウォール12を介してネットワーク2に接続されている。このファイアウォール12は、不正アクセスを阻止するためのインタフェースである。

【0010】WWWサーバ13は、HTTPプロトコル中に記述されたCGI（コモンゲートウェイインタフェース）と呼ばれるプログラムを起動し、情報の発信や顧客からのデータの受け入れ等を制御する部分である。また、WWWサーバ13は、モールサーバ14が依頼を受けたテナントの商品情報をネットワーク2に送り出す。データベースサーバ15は、顧客から受けた注文情報を処理し、注文データファイル16に格納する処理を行う部分である。注文通知制御部17は、所定のタイミングで、テナント4に対し送信する通知書を作成する旨の指示をイメージ化処理部18に出力する部分である。イメージ化処理部18は注文データファイル16を参照してテナント毎に送信すべき通知書5のイメージを生成する部分である。ファクシミリ送信制御部19はファクシミリモデム等から構成され、イメージ化処理部18が出力する通知書のイメージを公衆回線6を通じて各テナントのファクシミリ装置4に送信する部分である。公衆回線6は電話回線等から構成される。

【0011】上記のように、本発明のシステムでは、一般の商店等が以前から商用に所有していると予想されるファクシミリ装置を利用して、注文情報の通知を行う構成になっている。即ち、WWWサーバ13で受けた顧客からの注文情報を注文データファイル16に格納した後、適当なタイミングでこれらの情報をまとめて取り出し、所定のフォームで各テナントにファクシミリ送信する。

【0012】次に、図1に示した電子モールシステムの具体的な動作を説明する。図2は、電子モールの動作説明図である。顧客は、図1に示すようなシステムによって電子モール3から商品情報を受け取る。そして、顧客が顧客端末1を操作して、電子モール3に対し注文を行うと、電子モール側の注文データファイル16にその内容が格納される。図2に示すように、例えば、注文データファイル16には顧客名や、注文内容とその商品を扱うテナント名等が格納される。

【0013】一方、注文通知制御部17は、こうした注文情報が注文データファイル16に蓄積されると、適当なタイミングでイメージ化処理部18を起動する。この制御は、例えば注文通知制御部17に設けられたタイマ21により行う。このタイマ21は、例えば1日1回あるいは2回ほど動作し、イメージ化処理部18に対し起動を要求する。イメージ化処理部18は、注文通知制御部17の制御を受けて注文データファイル16からまだテナントに通知していない部分の注文情報を読み出し、これを編集してテナント別通知書のイメージ22を通知する。このイメージ22の内容は、個々のテナントに対する顧客名と注文内容のリストである。これらのテナント別通知書のイメージ22はファクシミリ送信制御部19を介してテナント側のファクシミリ装置4に向けて送信される。

【0014】テナント側のファクシミリ装置4は、通知書5を印刷出力する。テナントは、この通知書5を受け取ることによって必要な商品の手配をし、顧客に対し商品の発送等の業務を行う。以上がシステム全体の動作であるが、ここで電子モールがファクシミリを送信するまでのより具体的な動作を説明する。

【0015】図3は、ファクシミリ送信を行うまでの電子モールの動作フローチャートである。まず、顧客が電子モールシステムのインターネットアドレスにアクセスすることによって、商品情報を取得する。そして、注文依頼がインターネットを介してHTTPプロトコルでWWWサーバに届く（ステップS1）。通常、WWWサーバはHTTPプロトコル中に記述されたCGIと呼ばれるプログラムを起動し処理を行わせる。ここで起動されるCGIはWWWサーバ上では何も処理を行わず、顧客の使用しているブラウザから出力された全てのデータをモールサーバ14（図1）に転送する（ステップS2）。次のステップS3では、モールサーバ14（図

1) が受け取ったデータを解釈し、注文情報だけをデータベースサーバ15に送り、注文データファイル16に書き込む。この注文データファイル16には、どのテナントの商品を顧客が注文したかという情報と、商品番号、数量、金額、顧客即ち購入者の氏名、電話番号等、顧客から通知された様々な情報が書き込まれる。書き込まれたデータはテキストデータであって、ファクシミリで送信するためには、これを画像データに変換しなければならない。そこで、モールサーバ14のプリントドライバを利用して、イメージデータへの変換処理を行う。イメージ化処理部18はこうしたプリントドライバ等により構成された機能ブロックである(ステップS4)。

【0016】更に、ステップS5で、イメージ化処理部18は、MMR(CCITT)で決められたT、6符号化方式によってデータを圧縮する。これはいわゆるG3FAXの圧縮方式である。この信号はファクシミリ送信制御部19に送り込まれる。ファクシミリ送信制御部19は、テナントのFAXの電話番号をデータベースサーバ15から読み出してテナントのファクシミリ装置4に対して送信する(ステップS6)。以上のような処理によって、顧客に対し所定の形式の通知書が送信される。

【0017】図4には、通知書の送信タイミングの説明図を示す。上記のような通知書は、顧客からの注文発生都度ファクシミリ送信されてもよい。しかしながら、多数の顧客から注文が集中するような場合には、適当な件数だけまとめて通知書を生成することが好ましい。これによって、テナントの側では必要以上に多数の通知書を受け取ることがなくなる。また、電子モールシステム側も通信費を安く抑えることができる。このため、図4に示すように、注文通知制御部17(図1)は、例えばタイマによる指令M1、テナントの要求M2、あるいは短納期割り込みM3等をきっかけとしてイメージ化処理部18に通知書送信の指示を行うことが好ましい。例えば、タイマによる指令M1は、1日午前と午後1回ずつとか、1日に1回といった内容となる。

【0018】また、テナントから特別に要求があった場合にはその都度通知書の送信を行う。更に、極めて短期の注文があったような場合には、緊急にテナントに対しその通知書を送信することも考えられる。イメージ化処理部18は、通知書パターンファイル25を用意しておき、ケース毎に異なる種類の通知書のイメージに注文情報を合成して送信するように動作することが好まし

い。この通知書のパターンは通知の種類に応じて用意したり、あるいはテナント毎に、それぞれテナントの希望するフォームとしてもよい。これらによって、より適切なテナントに対するサービスが可能となる。

【0019】

【発明の効果】以上説明した本発明の電子モールシステムとその制御方法によれば、ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設して、顧客の注文を受けたとき、その注文情報をテナントに対しファクシミリを用いて送信するようにしたので、テナントに高価な通信端末を据え付けることを要求する必要がなくなる。従って、顧客側の維持費負担が軽減され、多数の顧客を電子モールシステムに勧誘することが可能になる。

【0020】また、たとえ顧客がネットワークを介して注文情報を受け取ることでできる端末を所持していたとしても、一定時間毎あるいは一定の期間毎に蓄積された注文情報を適切なフォームでまとめてファクシミリ送信する構成にすれば、テナントは取り扱い易い受注情報としてこの通知書を保存することが可能になる。また、顧客が自ら電子モールシステムに対して注文情報を問い合わせたり、注文情報の収集を行うといった手間が省略されるため、テナントの負担が軽減されしかも通信費も全体として安く抑えられるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステムの具体例を示すブロック図である。

【図2】電子モールの動作説明図である。

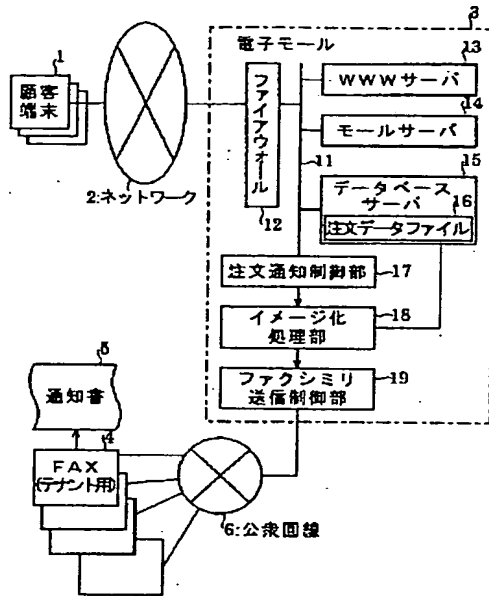
【図3】ファクシミリ送信動作フローチャートである。

【図4】通知書送信タイミングの説明図である。

【符号の説明】

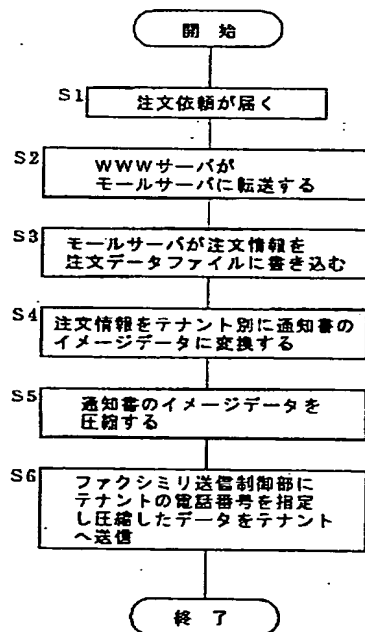
- 1 顧客端末
- 2 ネットワーク
- 3 電子モール
- 4 ファクシミリ装置
- 5 通知書
- 6 公衆回線
- 14 モールサーバ
- 15 データベースサーバ
- 16 注文データファイル
- 17 注文通知制御部
- 18 イメージ化処理部
- 19 ファクシミリ送信制御部

【図1】



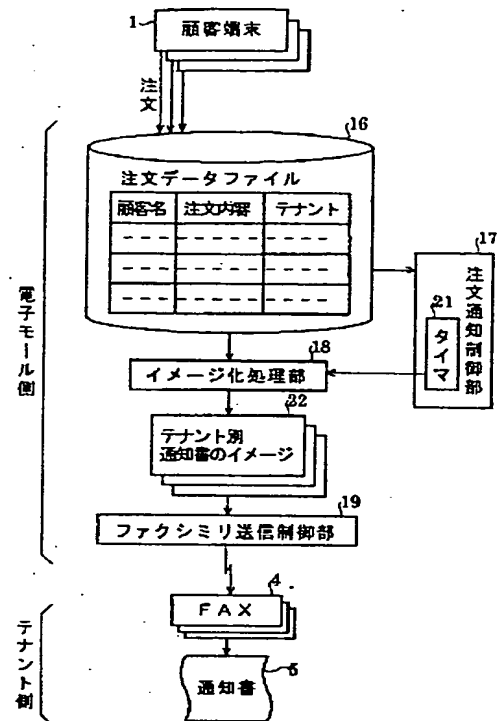
本発明のシステムのブロック図

【図3】



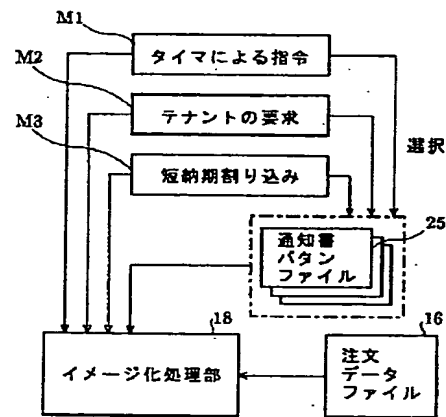
ファクシミリ送信動作フローチャート

【図2】



電子モールの動作説明図

【図4】



通知書送信タイミングの説明図

THIS PAGE BLANK (USPTO)